

いぜな



伊是名島イメージキャラクター
尚円王®

4

2026
令和8年
No.660

広報
IZENA



自然と歴史が織りなす 尚円の里 伊是名島



彩虹

第78期卒業記念

今月号の主な内容

- ・令和8年度施政方針・予算編成
- ・琉球芸能出前公演 開演
- ・小規模離島10町村へ企業版ふるさと納税寄附
- ・村内の卒業・卒園式

伊是名 仲田 諸見 内花 勢理客

	伊是名	仲田	諸見	内花	勢理客	計	先月比
男	129	166	239	90	91	715人	2
女	83	154	153	60	88	538人	1
計	212	320	392	150	179	1,253人	3
世帯数	138	202	236	93	88	757	2

村の人口【計1,253人】

令和8年2月27日現在

広報いぜなは こちらから	ふるさと納税は こちらから	伊是名村HPは こちらから	公式LINE追加は こちらから

令和8年度 施政方針

I はじめに

本日ここに、令和8年第1回伊是名村議会定例会の開会に当たり、村政に対する基本的な考えを申し上げ、議員並びに村民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私は、令和4年9月に村民の付託を受け、第23代伊是名村長に就任致しました。早いもので、一期目の任期は、残すところ後6ヶ月となりました。

村長就任に際し、これまでの諸事業を継続しながら、任期中に公約に掲げた12項目の基本政策の実現を目指すべく、全力で取り組み、更に、複雑多様化する行政課題や村

目次

I はじめに

II 令和8年度 主要施策

1. 教育・文化・生涯学習の振興について
 2. 自然環境衛生対策について
 3. 村民福祉について
 4. 消防・防災体制について
 5. 生活環境の充実について
 6. 産業の振興について
 7. 定住環境について
 8. 効率的な行財政運営について
- おわりに

民ニーズの確かな把握に努め、行政サービスの向上を目指してまいりますと所信表明で述べ、以来、村政運営を誠心誠意、全身全霊で全うする覚悟で公約に掲げた基本政策の実現に向け、職員一丸となつて取り組んでいるところであります。

村政運営について、村民はじめ議員各位、郷友の方々等、各方面から温かいご支援ご指導を賜り、心から御礼を申し上げます。

さて、イタリヤで開催されたミラノ・コルテナ冬季オリンピックは、まだ記憶に新しいことと思いますが、日本は過去最多となる24個のメダルを獲得し、選手の活躍に多くの国民が感動したことと思っております。

オリンピックは、単なるスポーツ

の競技会にとどまらず、人種や宗教、政治的な対立を超え、スポーツを通じて世界平和の実現という高い理想が掲げられています。

しかしながら、今、世界情勢は、国際的な安全保障秩序が乱れ、不安定になっています。ウクライナ情勢の長期化に加え、今年の年明け早々に、アメリカトランプ政権によるベネズエラの軍事侵攻、2月末にはアメリカとイスラエルがイランを軍事攻撃し、それに伴いイランがホルムズ海峡を封鎖したとの報道がありました。

中東産の原油やガスを輸送するタンカーのほとんどが、この海峡を通ることから、封鎖により中東産の原油やガスが供給されず、日本においてもエネルギー価格の上昇

が想定されます。長らく続いている物価高騰に加え、更に、物価価格の高騰が加速し、ガソリン代高騰、光熱費等の大幅アップは、私たちの日常生活に大幅な打撃を与えるものと懸念しています。

物価高騰は、村民の家計を直撃することから、家計の負担軽減を図るため、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用して、全村民へクーポン券の配布を早め、実施できるよう取り組んでまいります。

また、これまで、子育て世帯への給付金、学校給食費の無償化など、村民の負担軽減に努めてまいりましたが、引き続き、村民の生活に目配りしながら、暮らしを守る施策を講じてまいります。

そして、複雑多様化する行政課題や村民ニーズを的確に把握するため、行政懇談会等を通して、地域が抱える課題や要望等を村民から直接伺って、地域の課題解決に取り組む、行政と村民、地域が連携したより良いむらづくりを目指してまいります。

全国的に少子高齢化や人口減少は深刻化しており、本村においても人口減少や高齢化の進行により、様々な分野において厳しい状況にあり、少なくとも人口の現状維持を保ちながら、人口増加の取り組みについても進めて行かなければならないと痛感しています。

離島の条件不利性に起因する様々な課題は、人口減少や高齢化の要因にもなっているものと考え

伊是名村長
奥間 守



られ、その課題を解消するために、引き続きインフラ整備等に取り組み、人口減少により、雇用の場における人手不足も深刻化しており、村の基幹産業である第一次産業の農業及び漁業における従事者の高齢化、担い手の不足等の課題、更に、その関連事業所における従事者の不足、エッセンシャルワーカー等の担い手のうち、特に保健・福祉施設等における専門職の人材確保も厳しくなっています。

このように人口減少は、村内の人材の雇用にも影響が生じており、行政においても村民へのサービス低下を招かないよう、職員一丸となつて質の高い行政サービスの向上に努めてまいります。

終わりに、私の二期目の進退について、今定例会一般質問で通告を受けていますが、私は村長就任に当たり、二期を目前に公約に掲げた基本政策の実現若しくは芽出しをするとの強い覚悟を持って臨みましたが、現在の健康上の理由で二期限りで退任することをこの場で報告します。

任期一期での退任は、私をご支援下さった村民の期待に応えることができずじけたる思いでいっぱいですが、現在の健康状態を考慮して

の決断でありますので、ご理解下さいますようお願い申し上げます。

なお、詳細については、一般質問の答弁で述べることとします。

それでは、「第5次伊是名村総合計画」に掲げている基本目標に沿つて主要施策を申し述べ、村政運営の基本方針といたします。

どうぞ、議員各位及び村民の皆様より一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

II 令和8年度主要施策

1. 教育・文化・生涯学習の振興について

(1) 学校教育の充実

離島の不利な条件を克服するとともに離島の良さを活かしながら、「人材をもつて資源となす」を理念として、村内外で活躍する人材の育成を図るための幼児教育並びに学校教育の充実、村民の生涯にわたる学び・スポーツの充実を図るとともに、文化財の適正な管理・保全に努め地域学習、観光資源としての効果的な活用を図ってまいります。

また、認定こども園の開設に向けた課題や諸条件の整理・検討、経営体制及び運営方法等の調査研究に引き続き取り組んでまいります。

また、認定こども園の開設に向けた課題や諸条件の整理・検討、経営体制及び運営方法等の調査研究に引き続き取り組んでまいります。

また、認定こども園の開設に向けた課題や諸条件の整理・検討、経営体制及び運営方法等の調査研究に引き続き取り組んでまいります。

また、認定こども園の開設に向けた課題や諸条件の整理・検討、経営体制及び運営方法等の調査研究に引き続き取り組んでまいります。

また、認定こども園の開設に向けた課題や諸条件の整理・検討、経営体制及び運営方法等の調査研究に引き続き取り組んでまいります。

また、認定こども園の開設に向けた課題や諸条件の整理・検討、経営体制及び運営方法等の調査研究に引き続き取り組んでまいります。

また、認定こども園の開設に向けた課題や諸条件の整理・検討、経営体制及び運営方法等の調査研究に引き続き取り組んでまいります。

また、認定こども園の開設に向けた課題や諸条件の整理・検討、経営体制及び運営方法等の調査研究に引き続き取り組んでまいります。

(2) 生涯学習(社会教育・社会体育)の推進

生涯学習は、自分自身の生活を充実させ、学んだことを生かして活力ある地域や社会をつくるなど、個人のためにも社会のためにも大切なものであり、村民に学習活動の機会を提供することは、重要なことと考えます。村民一人ひとりの生涯学習を支援するための環境の整備並びに生涯にわたって健康で心豊かな生活を送るためのスポーツ活動・レクリエーション活動の普及・発展を図り、地域活性化に向けて取り組んでまいります。

また、今年度も「職域ナイターズフットボール大会」等の各種事業の実施並びに「フラダンス教室」、「大正琴教室」、「書道教室」の開催に向けた取り組みを推進してまいります。

また、今年度も「職域ナイターズフットボール大会」等の各種事業の実施並びに「フラダンス教室」、「大正琴教室」、「書道教室」の開催に向けた取り組みを推進してまいります。

また、今年度も「職域ナイターズフットボール大会」等の各種事業の実施並びに「フラダンス教室」、「大正琴教室」、「書道教室」の開催に向けた取り組みを推進してまいります。

また、今年度も「職域ナイターズフットボール大会」等の各種事業の実施並びに「フラダンス教室」、「大正琴教室」、「書道教室」の開催に向けた取り組みを推進してまいります。

また、今年度も「職域ナイターズフットボール大会」等の各種事業の実施並びに「フラダンス教室」、「大正琴教室」、「書道教室」の開催に向けた取り組みを推進してまいります。

また、今年度も「職域ナイターズフットボール大会」等の各種事業の実施並びに「フラダンス教室」、「大正琴教室」、「書道教室」の開催に向けた取り組みを推進してまいります。

(3) 教育費の保護者負担軽減

保護者の負担軽減の観点から、幼稚園保育料及び預かり保育料の無償化、幼児・児童・生徒の給食費無償化、小、中学生の修学旅行費用の一部助成、小、中学校児童・生徒を対象とした無料学習塾の継続、高校生を対象とした修学支援、児童・生徒の島外での教育活動及び各種検定料の一部助成を、引き続き実施してまいります。

また、高校等進学者に対する入学準備支援と学校行事に参加する保護者への渡航費支援を、継続して取り組んでまいります。

また、高校等進学者に対する入学準備支援と学校行事に参加する保護者への渡航費支援を、継続して取り組んでまいります。

また、高校等進学者に対する入学準備支援と学校行事に参加する保護者への渡航費支援を、継続して取り組んでまいります。

また、高校等進学者に対する入学準備支援と学校行事に参加する保護者への渡航費支援を、継続して取り組んでまいります。

また、高校等進学者に対する入学準備支援と学校行事に参加する保護者への渡航費支援を、継続して取り組んでまいります。

また、高校等進学者に対する入学準備支援と学校行事に参加する保護者への渡航費支援を、継続して取り組んでまいります。

(4) 育英事業の充実

育英事業は、向学心に富み、優れた素質を有する生徒、学生が、経済的な理由により、安心して勉学に励むことができないうちに支援し、将来、有為な人材の育成を図るうえで重要な事業であります。

また、今年度も「職域ナイターズフットボール大会」等の各種事業の実施並びに「フラダンス教室」、「大正琴教室」、「書道教室」の開催に向けた取り組みを推進してまいります。

また、今年度も「職域ナイターズフットボール大会」等の各種事業の実施並びに「フラダンス教室」、「大正琴教室」、「書道教室」の開催に向けた取り組みを推進してまいります。

(5) 文化財の保護・活用

村内には、国、県、村指定文化財及び国登録文化財計44件あり、関係する法令及び条例等により適正に管理・保全されています。

これら文化財の活用は、観光資源や地域学習に資するとの認識から、文化財の活用に期待される効果や役割が拡大しているところであり、更なる事業展開が望まれています。

また、村内遺跡発掘調査等事業として県指定史跡「伊是名城跡」の国指定格上げに向けた発掘調査報告書刊行業務及び具志川島における埋蔵文化財の試掘調査に取り組んでまいります。

2. 自然環境衛生対策について

(1) 自然環境の保全

本村の豊かな自然環境を適正に維持管理しながら、生活環境の向上に向けた取り組みを推進するため、各集落と連携して集落内の美化作業などを行い良好な集落景観の維持保全を図り、重要な観光資源として活用に努めてまいります。

(2) 環境対策の推進

ごみ処理施設は、基幹改良整備を終え、安定した焼却能力が回復しております。今後も施設の延命化を図るため、維持管理を適正に行い運用してまいります。また、プ

ラスチック製容器包装リサイクルを推進し、さらなるゴミの減量化に努めてまいります。

(3) 墓地対策について

諸見地区の公営墓地整備については、継続して取り組み、約30基ほどの墳墓が建設できる用地を提供してまいります。

また、永代供養施設の整備については、村民及び村外の郷友の方々からの要望が多く、お墓のな一方、墓じまいを考えている方及び空き家に残る位牌についても一定期間利用できるよう、遺骨及び位牌の安置所を併設した施設整備に取り組んでまいります。

3. 村民福祉について

村民福祉につきましては、地域に住むすべての人が幸せな生活を送ることができるよう、地域福祉計画を柱として、住民が主体となるよう地域に住む全ての人の健康と安心・安全を築くため、共に支え合う仕組みづくりに取り組んでまいります。

村が抱える課題の一つに少子高齢・人口減少という大きな課題があり、村全体の経済・社会存続の危機を乗り越えるために、地域住民が

「支え手」「受け手」となり、人と資源が世代を超えて丸ごと繋がる体制づくりを引き続き進めてまいります。

(1) 高齢者福祉の充実

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域包括ケアシステム構築に向け、高齢者の自立支援や介護予防・重症化防止を目的とした地域支援事業を引き続き推進します。

更に、高齢者の居場所づくり体制を整え、社会参加を目指し、フレイル予防事業に取り組んでまいります。

また、日常生活の中では、「生活サポート」、「配食サービス」、「移送サービス」、「電動三輪車等購入補助事業」を支援するとともに、地域介護予防活動支援事業として、住民が主体となった自主サークル活動に支援・協力し、「100歳体操」などを通して人が交わる高齢者を見守る体制を整え、医療と介護、保健事業と福祉の充実を、継続して推進してまいります。

また、高齢者の認知症の早期発見や家族の相談支援を行うとともに、支える体制づくりに取り組んでまいります。

(2) 障がい者(児)福祉の充実

障がい者福祉につきましては、地域において安心して必要などに適切な支援と自立に向けて社会参加できるよう、就労支援などに引き続き取り組んでまいります。

精神に障がいのある方にも対応した地域包括ケアシステムの構築と地域生活拠点の整備を目指してまいります。

また、発達の気になる子の支援についても相談や適切な療育指導の充実を図り、家族が安心して暮らせるよう体制を構築し、支援してまいります。

(3) 子育て支援の充実

子育て支援については、核家族化が進み地域とのつながりが希薄となる中で、全ての家庭が安心して出産、子育てができるよう、そして子ども達が生まれ育った環境に左右されることがないよう妊婦包括相談支援事業、妊婦のための支援給付、産後ケア事業等、伴走型相談支援を推進し、子育て世代支援センターと子ども家庭総合拠点

が有していた機能を引き続き生かしながら、母子保健・児童福祉の両機能の連携・協働を深め、福祉に関する包括的な支援に切れ目なく取

り組んでまいります。

子ども達が安心して過ごすことのできる居場所を確保し、地域の実情に応じて居場所を必要とする子どもに関して、学校等の関係機関との情報共有等子育て支援の充実に努めてまいります。

保育サービスにつきましては、3歳児以上の保育料無償化、副食費の無償化を継続するとともに、安全安心な保育環境を確保し、保育人材の確保と研修の充実に引き続き取り組んでまいります。

(4) 保健・医療の充実について

医療の充実については、村外でしか受けることができない医療を受ける住民の経済的負担軽減を目的とした渡航費を支援し、また、妊婦健診検査料を助成し、安心して出産ができる環境と母子の健康を支援できる体制を整え、取り組んでまいります。

子ども医療費につきましては、引き続き18歳年度末までの医療費を助成し、保護者の経済的負担軽減を図ってまいります。

健康増進につきましては、村民が主体的に健康づくり活動に取り組めるよう健康フェアや運動教室等を開催し、健康に対する意識付け動機付けを図り、村民の健康増

管理経費を見極めて、検討していきたく考えています。

以上のように船舶運航事業は、法改正及びキャッシュレス化事業の導入等、大きな過渡期を迎えておりますが、安全運航第一を念頭に、唯一の海上公共交通機関としての役目をしっかりと果たしてまいりたいと考えています。

(4) 情報通信環境の整備について

情報通信環境整備については進化を続け、離島・過疎地域である本村の条件不利性を克服させています。本村は、公共施設や各家庭においてブロードバンドが利用できる環境が整備され、ホームページやQAB放送のdボタンを通じた行政情報の入手や情報検索が可能になりました。

防災行政無線については、令和7年度に各地域の子局及び家庭等に設置してある戸別受信機の更新が完了し、通信困難だったエリアへの情報伝達が可能となり、聞き取りやすい環境が整っています。引き続き村内の各種情報や災害情報等が正確に発信出来るよう努めてまいります。

さらに、各公共施設のWi-Fi環境の整備を加速化し、より良い

情報発信に努めてまいります。

(5) 地域公共交通について

地域の暮らしと産業を支え、豊かで暮らしやすい地域づくりや活力ある地域の振興を図るうえで「移動」は欠かせないものであります。

しかしながら、近年の人口減少などにより、民間の交通事業者が収益を確保できる形で公共交通を担うということが難しくなっている状況にあります。また、北部地域においては、昨年開園したジャングリア及び北部滞在型観光も期待されています。ジャングリア開園は、運天港までの交通渋滞が心配されたほどではなく、こういった北部地域における公共交通の現状や課題を認識し、利便性の向上、且つ交通の円滑化を図るため、北部圏域の自治体と各バス会社等が中心となり協議重ね公共交通ネットワーク構築に向け模索しています。

これからも課題解決に向け、多様な関係者が連携し、地域の暮らしと産業を支える移動手段の確保に引き続き取り組んでまいります。

村内においても、運転のできない高齢者や障害者などの交通弱者が、居住地と各施設を結ぶための交通手段の確保は重要な課題であ

り、持続可能な交通体系の確立が不可欠であります。

よって、村内の移動サービスの充実と運天港路線の交通手段の課題解決に向けて引き続き取り組んでまいります。

(6) 上下水道の整備について

① 簡易水道事業の整備

簡易水道事業につきましては、年明け早々から内花地区の断水が生じ、大変ご迷惑をおかけしました。沖縄県企業局に事態の改善を要請したところであります。安全で安心な水道水の安定供給のため、今後も老朽化した本管の布設替及び給水装置の更新事業を進めるとともに、漏水による不明水を減少させ有収率の改善に向けた取り組みを進めてまいります。

② 農業集落排水事業の整備

本村の農業集落排水施設は、伊是名地区と勢理各地区の施設を整理統合した「伊是名西部地区」の更新整備が令和3年度に完了し、環境負荷低減並びに生活環境の改善が図られています。

令和6年度に、仲田区、諸見区、内花区を対象に「伊是名東部地区」として、「維持管理適正化計画」を策定し、令和7年度に事業採択を

受け、管路設計を行っているところであります。令和8年度には、処理場施設の設計及び管路敷設工事を実施してまいります。

6. 産業の振興について

(1) 農林水産業について

① 農業の振興

令和7年／8年期のさとうきび生産は、小雨の影響で干ばつによる生育への影響が懸念されておりましたが、かん水の啓発や生産農家の肥培管理の徹底により、干ばつ被害を最小限に抑え、今期見込み生産高は22,064トンと2万トンを超える見込みであり、生産農家及び関係機関の努力の賜と心から敬意を表するものでございます。

また、収穫作業の機械化に伴い導入されたハーベスターの機能向上を図るため、受託事業者等への支援を行うことにより、更なる糖業推進を図ってまいります。

これまで沖縄振興特別推進交付金や各種事業を活用した「完熟堆肥」や「緑肥」等の助成事業により一定の効果が発現しているものと考えられます。

しかしながら、近年の物価高騰等により農業を取り巻く環境は以

前厳しい状況であり、農業振興のため今年度も引き続き、病害虫防除、肥培管理等の基本的な栽培技術の普及や土作り支援事業、農地の地力強化推進事業にて農業振興施策を実施してまいります。

担い手の確保においては、新規就農者の確保を目的に新規畑人（しんきはるさん）事業を活用し、新たに3名の担い手を支援してまいります。

水稲においては、食用としての一期待に加え加工用の一期米も継続しての作付となりました。両作とも順調に生育し、一期作においては18,1トン、二期作においては86トンの収量となり、生産農家の所得向上が図れたとものと考えています。しかし、既存のライスセンター施設は築51年が経過し、老朽化が著しいため、農産物の持続可能性を確保し、地域活力の向上を図るため、整備に向けた施設の基本計画を策定してまいります。

② 畜産業の振興

村における畜産農家の経営安定及び畜産業の振興を図るため、優良繁殖雌牛導入促進事業による繁殖雌牛購入費用の一部助成を、意欲ある生産者が継続的に取り組めるよう村単独事業として継続支援

してまいります。

③水産業の振興

本村は周囲を海に囲まれ、恵まれた漁業環境にあります。中でも、基幹漁業であるモズク養殖は、県下でも有数の産地として知られています。特にモズクの拠点産地として認定されたことは、本村水産業の振興発展に大きく寄与するものと確信するところであります。

モズク加工場の整備については、施設の老朽化が進んでいるため、再整備の必要性があることから、漁業協同組合と連携し、加工場の再整備に向け継続して取り組んでまいります。

また、アーサや海ぶどうの拠点産地形成に向けて、引き続き漁協と連携を図り支援してまいります。

漁場の環境生態系の維持・回復については、オニヒトデ駆除やサンゴ礁の保全活動など、多面的機能発揮に資する地域活動の支援に取り組んでまいります。

更に、今年度より漁場の生産力向上等を目的に、漁業再生支援事業が採択されましたので、漁業集落に対し支援を行ってまいります。

水産物供給の円滑化については、勢理客漁港に定期船の補完バースを整備し、就航率及び運航の円滑

化・効率化を図るとともに、モズクの網干し場を整備し、水産業の振興を図ってまいります。

また、伊是名漁港「勢理客地区」については、高潮被害対策として海岸整備事業を令和6年度から進めており、伊是名漁港「伊是名地区」、「勢理客地区」の漁港機能保全化においても併せて整備してまいります。

(2) 商工・観光業について

① 商工業の振興

村の卸小売業の推移を商業統計調査でみてみますと、平成16年は事業所数29、従事者数59人、平成19年は事業所数28、従事者数57人、平成26年は事業所数23、従事者数51人と事業所数、従事者数共に減少しております。

しかしながら、年間商品販売額をみてみますと平成16年は74,580万円、平成19年は65,470万円、平成26年が78,800万円と増加しており、令和7年モズク生産額15,000万円、さとうきび生産額52,984万円と比較しましたも村産業全体に占める割合は非常に高く、観光入域者の増加やネット販売等の新規販売経路の開拓によつては、更なる成長が期待できる産業であります。

また、商工業は、第一次産業生産物を加工し、高付加価値をつけて販売することで、一次産業の消費拡大にも繋がるなど、大きな可能性を秘めています。

村商工会では、モズクの新しい食べ方を提案する「モズク消費拡大プロジェクト」、島内産商品の島内消費拡大、メディアへのアピール等を目的とする「島産品奨励月間」の制定等の商品開発・販路拡大事業、新規事業者相談等、様々な活動を通して、会員の経営安定化や稼ぐ力の強化に取り組んでまいります。

このように、商工業は、村経済振興に欠かすことのできない重要な産業であり、今年度も昨年度に引き続き、商工会活動の円滑化を図るため、商工会運営補助金を交付します。

また、村内事業者が村外イベントに出店する際の負担軽減を図るために、出店料助成事業等を実施し、村商工業の振興を図ってまいります。

② 観光産業の振興

令和7年、訪日外国人旅行者は、過去最多を記録しました。沖縄県においても、国内外旅行入域者数が、過去最高を記録しました。

本村においても、入域者数が若

干ではありますが増加しており、公共工事関係者等の入域者を勘案しましても、観光入域者は緩やかに増加しているものと思われれます。

令和6年度沖縄県観光統計実態調査報告書によると、沖縄観光入域者の32.6%が本部半島を訪れており、29.2%の人が本部半島に宿泊しています。

沖縄本島北部を訪れる観光客の周遊効率化を高め、地域の所得向上や経済効果の最大化を図る目的で、北部広域市町村圏事務組合が取り組んでいる。観光地域づくり法人「やんばる観光DMO」の設立につきましては、令和7年度3月末に設立を予定しています。

また、同「DMO」と並行して令和7年度北部広域市町村圏事務組合による北部地域観光周遊計画策定事業が行われており、北部全体の観光交通ネットワークの構築を計画しています。

DMO設立により、行政と民間の垣根を取り除き、共通で課題解決に取り組む他、情報の共有化や周遊旅行計画の策定、人材育成等、広域的かつ公益的な観光振興が促進され、やんばる観光を盛り上げていくものと期待しているところであります。

県知事所信表明にもありました

通り、沖縄県では令和8年度中に宿泊税を導入します。県説明によりますと、県全体の収入額は、72億円余りになり、そのうち宿泊税を導入していない市町村への配分額は、21億円余りになるとのことです。観光振興財源として市町村から注目が集まる中、今後県も動向を注視していく必要があります。

観光協会は、公的機関と営利を目的とする民間企業との中間的な存在として、公益的な観光事業を推進する役割を担っていると語られています。

本村観光協会についても、教育旅行、各種体験事業を通して観光関連事業者の育成に取り組んでいる他、SNS等を活用したりリアルタイムな観光情報の発信など、村としても公益的観光事業の推進に努めています。

観光消費額の拡大は地域経済を潤し、新たな雇用を創出するなど、活力にあふれた地域づくりに貢献します。村としても、好調に推移する国内外観光入域者の誘客を促進するため、仮称「やんばる観光DMO」と連携して取り組んでまいります。

そのほか、観光施策の具現化を促進するため、観光振興の中核的役割を担う観光協会を財政面から

支援するほか、魅力ある観光形成に向け、共に取り組んでまいります。

更に、老朽化が著しい、仲田港観光物産センター及びターミナルの長寿命化、利便性向上を図るため、両施設の機能強化を図ってまいります。

具志川島リゾート開発計画については、当プロジェクトに対し、積極的に事業の推進・支援を表明する中、協議会を発足する予定でしたが、事業者と本村との役割の明確化や事業計画の詳細等が決定しておらず不確定要素が多いため、協議会発足のタイミングを見計らっているところであります。

また、教育委員会において、令和8年度に具志川島における埋蔵文化財の試掘調査を実施してまいりますので、事業計画に反映できるものと考えています。事業者と連携を密にし、意思疎通を図りながら情報収集に努め、早い段階で専門家等も招聘し、村民の声も反映しながら具志川島リゾート開発について検討してまいります。

7. 定住環境について

(1) 地域コミュニティの充実

本村は5つの集落から成り立っており、集落では豊かなコミュニ

ティが形成されています。しかしながら近年の人口減少は、地域コミュニティの維持や村内各産業の担い手不足に深刻な影響を及ぼしていること認識しており、人口減少は、村勢に大きな影響を与え、その対策は長期的かつ最重要課題となっております。

勢理客区においては、共同売店が令和元年度に担い手の不在等から運営が困難となり閉鎖し、区内に生活必需品等の購入ができる店舗がないことで、村営住宅の入居希望者が少ない要因の一つとなり、人口減少が顕著に表れているものと考えています。

そのため、車など移動手段を持たない買い物弱者や高齢者の交流の場並びに公園で遊んでいる子ども達の見守りなど、地域のコミュニティの場として活用されていた共同売店の必要性を強く感じた住民から再興を望む要望があり、区で話し合いを行った結果、令和7年度に県の支援を受け、過疎地域コミュニティ維持・再興支援事業を活用し、地域運営組織の将来ビジョン策定活動を実施しています。

令和8年度は地域課題解決等に取り組む持続的なモデル実践体制構築活動を実施し備品等の整備を行い、令和9年度からは自走化

していけるよう目指していることから、住民が快適で安心な暮らしを営むことができるよう、村としても積極的に支援してまいりたいと考えています。

定住促進住宅の建設について、各集落に2棟ずつ整備する計画であり、勢理客区、伊是名区及び諸見区にあと1棟ずつ整備する計画を進めております。若者の定住を目的としており計画的に進めてまいります。

また、地域間交流により活気を取り戻していけるよう各集落にコミュニティ活動備品等の整備を引き続き支援してまいります。

(2) 定住・移住者の支援

若年層への結婚・子育て支援の充実を図るため令和元年度から創設された祝い金制度は、新しい人生のスタートの応援と次世代を担う子どもの出生を祝福し、これまでに結婚祝い金19組、出産祝い金45名の支給があり、若者世代の定住促進に繋がっていることから、今後も継続してまいります。

また、観光消費や文化交流等を通じた地域の活性化と交流人口・関係人口の創出に取り組むため、村民との交流イベントを企画・運営する団体等に対して助成金を交

付してまいりました。今年度も引き続き関係団体と連携を図りながら1ターン者等の移住促進に繋げるよう取り組んでまいります。

8. 効率的な行財政運営について

令和6年度決算では、実質公債比率が6.0%と対前年度比は横ばいで、財政力指数においては、「1」に近いほど財源に余裕があるといわれている中0.10%とまだまだ厳しい状況にあります。

また、経常収支比率は70%台が望ましいとされていますが、94.8%と微増し、厳しい状況にあります。

安定的で健全な財政構造の構築を目指し、より一層高いコスト意識を持つて経費全般にわたる縮減合理化を図り、公平性を保ちながら、持続的かつ効率的な財政基盤の確立に取り組んでまいります。

また、沖縄北部連携促進特別振興事業や沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)などの高補助率の事業を活用し、財政負担の抑制に努めながら、近年複雑・多様化する社会情勢や村民サービスの維持・向上を図るため、職員の意識改革や政策形成能力向上に向け取り組んでまいります。更に、沖縄離島活

性化推進事業の中で、令和7年度に新たに創設された小規模離島町村を対象とした子育て支援事業も積極的に活用し、保護者の負担軽減に努めてまいります。

おわりに

令和8年度の村政運営にあたっての所信の一端と主要施策の概要を申し述べましたが、厳しい財政状況下において、最少の経費で最大の効果が得られるよう、限られた予算を最大限に活用し、第5次伊是名村総合計画の基本目標の実現に向けて、議員各位並びに村民の皆様のご支援とご協力を頂きつつ、一杯努力する所存であることをお誓い申し上げて、令和8年度の施政方針と致します。

令和8年度 伊是名村の予算

伊是名村の1年間の予算の使い方って
どうなっているんだろう？

令和8年度伊是名村当初予算が令和8年3月伊是名村議会議定例会で原案可決されました。継続的に実施する事業や、年度当初から着手することが必要な事業を中心に編成された今予算をご紹介します。

(単位:千円)

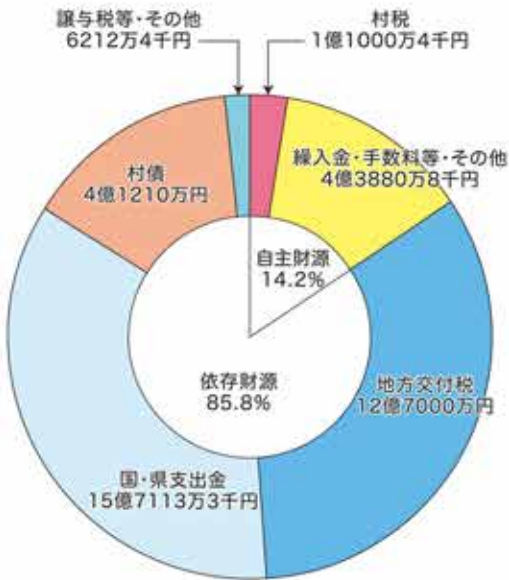
区分	令和8年度 当初予算額
一般会計	38億6416万9千円
特別会計	2億4399万円
後期高齢者医療特別会計	1598万円
港湾整備事業特別会計	1009万円
船舶運航事業特別会計	5億276万円
育英事業特別会計	918万5千円
企業会計	2億8153万9千円
簡易水道事業会計	1億5283万5千円
農業集落排水事業会計	1億5283万5千円
合 計	50億8054万8千円

令和8年度 当初予算総額 50億8054万8千円

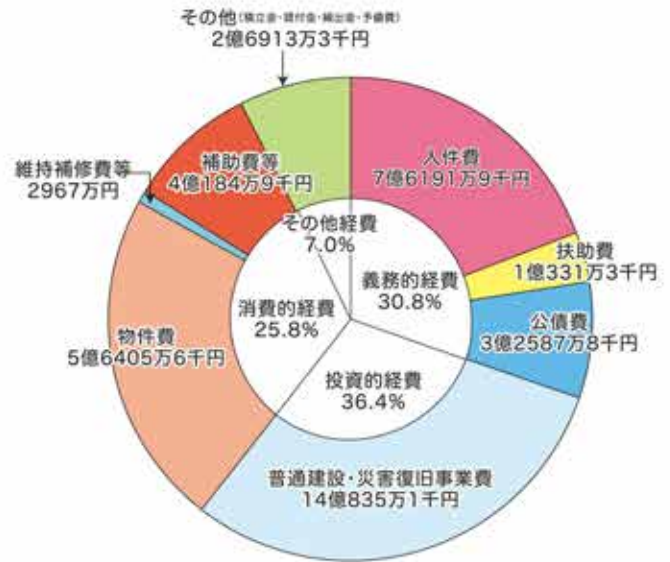
(対前年比 2,146万4千円減)

一般会計の内訳

歳 入



歳 出



区 分		歳入 当初予算額
自主財源	村 税	1億1000万4千円
	繰入金・手数料等・その他	4億3880万8千円
	小 計	5億4881万2千円
依存財源	地 方 交 付 税	12億7000万円
	国・県支出金	15億7113万3千円
	村 債	4億1210万円
	譲与税等・その他	6212万4千円
	小 計	33億1535万7千円
合 計		38億6416万9千円

区 分		歳出 当初予算額
義務的経費	人 件 費	7億6191万9千円
	扶 助 費	1億331万3千円
	公 債 費	3億2587万8千円
投資的経費	普通建設・災害復旧事業費	14億835万1千円
消費的経費	物 件 費	5億6405万6千円
	補 助 費 等	4億184万9千円
	維 持 補 修 費	2967万円
その他経費	その他(積立金・繰入金・予備費)	2億6913万3千円
合 計		38億6416万9千円

琉球伝統芸能で地域潤う

2月14日、村産業支援センターにおいて「琉球芸能出前公演 in 伊是名島2026」が開催され、会場には多くの村民が足を運び、幅広い世代が芸能に親しみました。

本公演はかりゆし芸能公演事業の一環として、若手琉球芸能実演家の皆さんによる「琉球古典舞踊」「琉球古典音楽」「民謡」「雑踊」「創作舞踊」の多彩な演目で構成され、出演者の中には、宇勢理客区出身の比嘉誠伍さんが故郷を思い伊是名島発祥の名曲「通水節(かみみじぶし)」を独唱するなど、終始会場からは自然と拍手が送られました。また、小・中学校の児童生徒によるアトラクションでは、9名が芯のある歌声と三線で「安波節」「めでたい節」「安里屋ユンタ」を披露しました。演目の最後には、カチャーシーと伊是名アイランドで和やかに締めくくりました。



写真提供：ハブせんせー

～桃の節句～ ひなまつり

3月3日、女の子の健やかな成長を願いひなまつりが村保育所で行われました。雛壇に手作りの人形が飾られ、女の子たちによるひなまつりダンスの披露後、ひなあられや白酒に見立てたジュースで乾杯し、健康を祈願しました。



小規模離島10町村に「企業版ふるさと納税」の寄附金贈呈式

3月2日、沖縄本島周辺の離島10町村と地域の経済活性化などに取り組む包括連携協定を結んでいる株式会社おきなわファイナンシャルグループ、沖縄電力株式会社、沖縄セルラー電話株式会社、新たに加盟した株式会社りゅうせきの4社は、企業版ふるさと納税を活用した地域支援として本村を含む小規模離島10町村にそれぞれ1,100万円、総額1億1,000万円が寄附されました。

この寄附金は、本村の地方創生事業に活用されます。温かいご支援、心より感謝申し上げます。



お詫びと訂正

広報いげな3月号伊是名村民生委員・児童委員紹介に誤りがありました。

(誤) 再 仲田区 仲本恵美子さん (正) 新 仲田区 仲本恵美子さん お詫びして訂正致します。

祝 ご卒業・ご卒園おめでとうございます

3/7

中学校卒業式
男子: 8人
女子: 4人



3/13

保育所卒園式
男子: 8人
女子: 5人



3/17

幼稚園卒園式
男子: 8人
女子: 5人



3/18

小学校卒業式
男子: 9人
女子: 7人





永代管理施設建設に向けた ニーズ調査について

現在、伊是名村では墓地整備計画を策定し管理型墓地または永代管理施設(納骨堂・合葬墓・位牌壇等)の建設にむけて取り組んでいます。

本調査にて施設の需要をはかるためご協力の程宜しくをお願いします。

なお、アンケートは右記の二次元コードか、折り込みチラシにて回答をお願いします。



【お問合せ】 建設環境課 0980-45-2004

沖縄県離島住民割引運賃カードの 有効期限切れの方は 村民でも通常運賃となります!

現在ご利用中の「離島住民割引運賃カード」は、更新・交付申請が必要となります。



お手持ちのカードの有効期限をご確認下さい。有効期限2ヶ月前より更新申請を受け付けております。申請の際には下記内容をご持参のうえ、商工観光課窓口にて手続きをお願いします。

対象者:伊是名村住民及び伊是名村出身学生等

対象運賃:島発往復割引運賃(大人・小人)
障害者割引運賃(大人・小人)
離島出身学生等往復割引運賃

必要書類

- ・沖縄県離島住民割引運賃カード交付申請書(商工観光課にて配布)
- ・住民票、マイナンバーカード又は運転免許証等の村内住所が確認できる書類(障がい者手帳をお持ちの方は手帳も持参して下さい)
- ・離島出身学生(中学生以上)の場合は在学証明書
- ・顔写真(3ヶ月以内に撮影したもので、縦30mm・横25mmのもの)

【お問合せ】 商工観光課 0980-45-2534

国民年金保険料の 学生納付特例制度について

20歳になったら、学生の皆さんも必ず国民年金に加入し、保険料を納めることが義務付けられています。しかし、学生本人の所得が一定額以下のときには、申請により保険料の納付が猶予される制度「学生納付特例制度」があります。



▲日本年金機構
ホームページ

■**継続申請:**令和8年度も引き続き該当する方には、ハガキ形式の申請書が年金事務所から送付されます。必要事項を記入し返信してください。

■**新規申請(継続申請でハガキが届いていない人を含む)**

【手続き先】 名護年金事務所、伊是名村役場住民福祉課、電子申請(マイナポータル)

【必要なもの】 学生証のコピーまたは在学証明書(原本)

■保険料を「納付」した場合と「学生納付特例」を利用した場合、「未納」のままにした場合は下表の通りです。

区分	納付	学生納付特例	未納(申請なし)
受給資格期間	含まれる	含まれる	含まれない
基礎年金額	含まれる	含まれない	含まれない

【お問合せ】 名護年金事務所 0980-52-2522
住民福祉課 0980-45-2819

書道教室 受講生募集

文字を書くことを通して、心を落ち着け、表現する楽しさを学びます。月に1回の自分時間。

自分のペースで基礎から学びませんか?初心者の方から経験者の方まで、自分に合わせた講座をご用意しています。

- ☑ 経験不問!初心者の方大歓迎です!
- ☑ 見学のみも可能です



皆さまのご参加お待ちしております。

講師:書工房 保 亜由美 先生

開催教室:書道教室(小学生クラス、一般クラス)
ペン字教室

開催場所:伊是名村産業支援センター

【お問合せ】 伊是名村教育委員会 0980-45-2318



令和8年度 伊是名村民カレンダー販売のお知らせ

令和8年度伊是名村民カレンダーが完成し、現在1部700円(税込)で販売しております。

【販売場所】

- ・しまぬ売店
- ・兼元商店
- ・仲田区共同売店
- ・JAスーパー
- ・高良屋



数量限定のため、なくなり次第終了となります。

なお、島内に住所を有する世帯には、各戸1部を無償配布しております。複数部の配布は行っておりません。

まだお手元に届いていない方がいらっしゃいましたら、下記までご連絡をお願いいたします。

【お問合せ】 商工観光課 0980-45-2534
E-mail: izenacalender@gmail.com

4月は年間購読料支払い月です

いつも「広報いぜな」をご愛読頂きありがとうございます。新年度に伴い、4月は年間購読料の支払い月となっています。島民のみならず、島を想う皆様にとっても必要な情報と四季折々の島の情報お届けします。今後とも「広報いぜな」を宜しくお願いします！

令和8年4月号～令和9年3月号分
購読料 **1,000円**

同封の納付書を使用し、
郵便局にてお支払い下さい。



新規購読も随時受付中!

【お問合せ】 総務課 0980-45-2001

ペットを飼っている方へ

災害は突然起こります。

いざというとき、ペットを守るのはいざいだけではありません。まず、飼い主が無事であること、そして避難する場合はペットと一緒に避難場所に避難すること(同行避難)が基本です。



災害時あなたとあなたの大事なペットを守るために普段から備えておきましょう

- ◻ ワクチン接種や寄生虫の駆除など、健康面のチェック
- ◻ ケージ、人や動物、様々な音や物に慣らすトレーニング
- ◻ 鑑札・注射済票(犬)、迷子札、マイクロチップなどによる所有者明示
- ◻ 住宅の災害対策や、ペットの避難セットの準備
- ◻ ペットの受入れ対応を含め、事前に避難場所の確認を!



☑ ペット避難 チェックリスト

① ペットの避難セットを準備しておきましょう

- ◻ ペットフード、水(5日分以上) ◻ 大好きなおやつ ◻ 食器 ◻ ペットシート ◻ ビニール袋
- ◻ 排泄物の処理用具 ◻ リード(伸びないもの) ◻ 療法食、薬 ◻ キャリーバッグ、ケージ
- ◻ 首輪、ハーネス(予備も) ◻ 洗濯ネット(猫の猫砂) ◻ タオル(大・小)、ブラシ ◻ ウエットティッシュ
- ◻ お気に入りのおもちゃ ◻ ガムテープ、新聞紙、マジック ◻ ペット防災手帳

Point! 持ち出しやすい身近なところに置いておきましょう。

② ペット防災手帳を作っておきましょう

- ◻ ペットの写真と情報 ◻ 飼い主の情報 ◻ かかりつけ動物病院
- ◻ 飼育状況 ◻ 緊急時の飼い方 ◻ 緊急時の問い合わせ先

Point! これらの情報を手帳にまとめておきましょう。

沖縄県 環境部自然保護課
電話: 098-866-2243
メール: aa039004@pref.okinawa.lg.jp

詳しい情報は、環境部HP
「ペットの災害対策」をご覧ください。



みんなで

警察庁 警察庁推薦 詐欺の電話はアプリでブロック!

無料 特殊詐欺対策アプリ

国際電話をブロック 詐欺電話をブロック 最新手口を把握

返付金詐欺 架空料金請求詐欺 ニセ警察詐欺 オレオレ詐欺 副業詐欺

このアプリは、警察庁推薦の詐欺対策アプリです。詐欺電話をブロックし、最新手口を把握することができます。

ダウンロードはこちら

警察庁・SOS47
特殊詐欺対策ページ



沖縄県警察

※ 必ずアプリをインストールしてください。

令和
8年度

村・県民税、固定資産税、軽自動車税 国民健康保険税、後期高齢者保険料の納期限です！

	4/30 (木)	6/1 (月)	6/30 (火)	7/31 (金)	8/31 (月)	9/30 (水)	11/2 (月)	11/30 (月)	12/25 (金)	12/30 (水)	2/1 (月)	3/1 (月)	3/31 (水)
村・県民税	納期		1期		2期		3期				4期		
固定資産税	納期	1期		2期					3期			4期	
軽自動車税	納期		全期										
国民健康保険税	納期			1期	2期		3期			4期	5期	6期	
後期高齢者保険料	納期			1期	2期	3期	4期	5期		6期	7期	8期	9期

※納期限までに納付されない場合は、**地方税法に基づき督促手数料及び延滞金が加算されます。**納期限を守りましょう！

督促手数料： 納期限後20日以内に督促状が発送され、督促手数料が加算されます。

延滞金： 納付期限の翌日から完納するまでの日数に応じて計算した延滞金が加算されます。

便利な口座振替がおすすめです！
納付のご相談も
お気軽にどうぞ！



お問い合わせ | 村県民税・固定資産税・軽自動車税について 総務課 45-2001
国民健康保険税・後期高齢者保険料について 住民福祉課 45-2819

尚円王の里いぜな島応援寄附金

令和8年2月 ふるさと納税実績

氏名	住所(所在地)	寄附金額
非公開(ネット申込)20名	-	- 円
計		255,000 円

※「-」は非公表希望

皆様からお寄せいただいた寄附金は、「自然と歴史、人が共生する
ときわのしま・伊是名」をめざして各事業、村発展のために使わせていた
だきます。ありがとうございました。

寄附事業名	件数	寄附金額
自然環境の保全及び歴史・文化の継承に関する事業	5	51,000 円
教育活動及び人材育成に関する事業	13	179,000 円
健康、社会福祉及び子育て支援に関する事業	0	0 円
産業振興、生活環境整備及び定住促進に関する事業	1	15,000 円
その他目的達成のため村長が必要と認める事業	1	10,000 円
合計	20	255,000 円

鳥の暦 (行事予定)



- 1日(水) ㊟入所・進級式
- 3日(金) 公事清明祭
- 4日(土) 清明(シーミー)
- 7日(火) ㊟㊦㊧1学期始業式/㊨入園式
- 8日(水) ㊩㊪入学式
- 11日(土) 第1回村内一斉清掃
- 25日(土) 伊是名村環境の日「環境プロジェクト」
- 29日(水) ㊫昭和の日/ウタキ折目(表作の感謝)
- 30日(木) 山ナジー(神山開き)



- 18日(金) 三月ウマチー・麦大祭
- 28日(土) 八十八夜/田植中ノ折目
(ターヌヤヌウイミ・豊作祈願)
- 31日(日) ㊬憲法記念日
- 4日(月) ㊭みどりの日
- 5日(火) ㊮こどもの日/立夏
- 6日(水) 振替休日
- 15日(金) 乳幼児一斉健診/沖縄本土復帰記念日
- 16日(土) やんばる駅伝競走 伊是名島大会
- 17日(日) アブシバレー
- 30日(土) ㊯国頭地区中学校夏季総合体育大会(~31日)

ちょこっとピックス

島の特産品を代表する
島米「尚円王の里」の田植
えが行われました！
また、村内では鮮やかな
春の花々が見頃となっ
ています。



ウスベニアオイ



ガザニア



ツツジ